

RS232C I/F付き メインユニット

PUC01-※1

tkSK-002
Ver-3.8

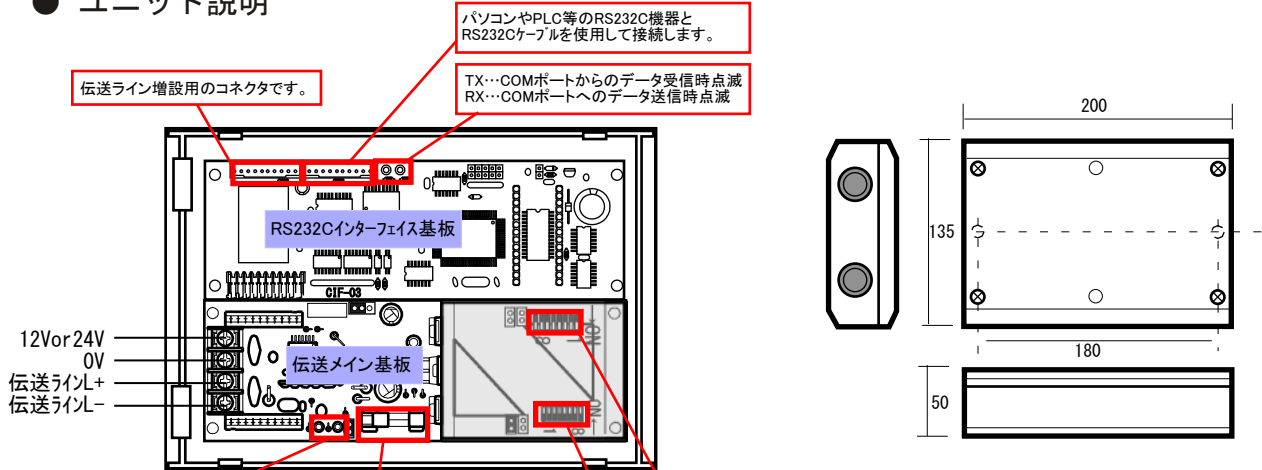
生産終了予定品

※1 A-アスキー通信用(弊社MGM16等で使用)、B-バイナリ通信用PLC等で使用)の2種類があります。

● 特徴

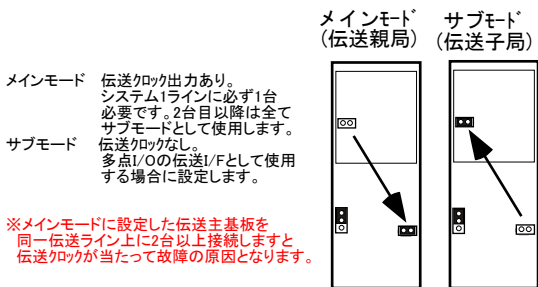
- ・ユニバーサルライン上のON/OFF信号をRS232Cに変換するユニットです。
- ・パソコン、PLCのRS232Cポートを使用して最大1024点のI/Oの監視、制御が可能になります。

● ユニット説明



- OK...正常動作時点減
DT...データ入力時点減
データ入力が多いほど明るく点滅
- 伝送ラインショート時にヒューズが切れます。切れた時は交換してください。(ミセット 0.5A)

ジャンパにより伝送メイン基板のモードの切替ができます



増設基板用入出力アドレス設定※

- ON 入力設定SW
1 設定方法
8 増設した入力基板の先頭のアドレス-1に合わせる (SW1~8の2進数合計をONする)
- 出力設定SW
ON ← 8 設定方法
1 増設した出力基板の最後のアドレスに合わせる (SW1~8の2進数合計をONする)

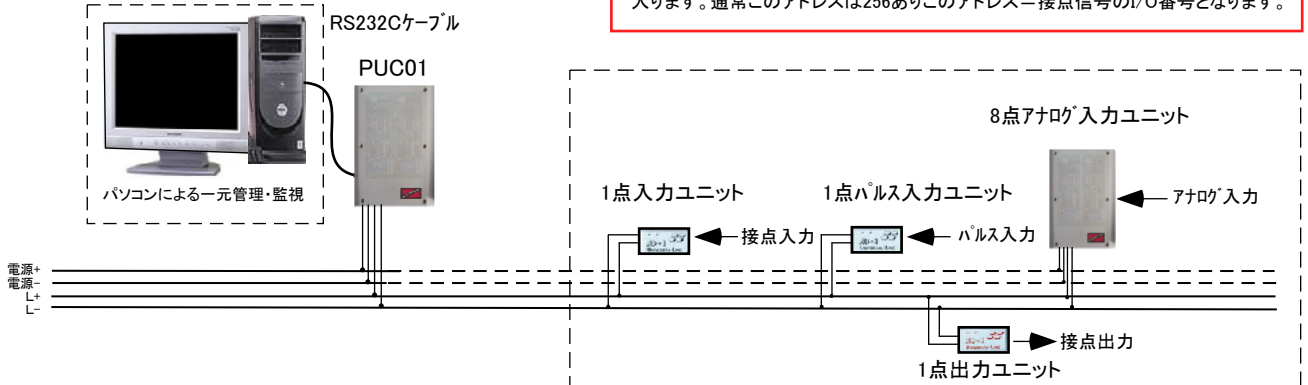
伝送メイン基板の放熱フィン下にあるディップSWで設定します。それぞれのSWに下記の2進数が割付けてあります。

SWNo	2進数
1	1
2	2
3	4
4	8
5	16
6	32
7	64
8	128

※アドレス設定表を参照してください。

※ アドレス
時分割多重伝送の時間的な位置の事で、その位置に接点信号のON/OFF状態が入ります。通常このアドレスは256ありこのアドレス=接点信号のI/O番号となります。

● 接続方法



● 仕様

電源電圧	DC12V専用もしくはDC24V専用 ※2
消費電流	500mA (突入電流1A)
クロック周波数	約512Hz
クロック数	256 (128・64)
ボーレート	9600BPS N81
質量	約460g

※2 24V用は末尾に-2が付きます。

配線方法・分岐は自由です。極性のみお気をつけください。